

《主要取組項目と総合指標》

【イメージの改善】 (市民意識調査 n=677)

H27年度 40.3%

【市外転出意向の理由】 (H27.10ファミリーアンケート n=186) 取組の結果

治安・マナーが悪い (43.4%)	→	ひたたくり、自転車盗激減
住宅に対する不満 (16.9%)	→	ゆとりある住宅の増
学校教育に不満 (6.6%)	→	ほぼ全国平均に向上
(自然) 環境面が悪い (5.4%)	→	環境モデル都市への選定
子育て支援に不安 (4.8%)	→	保育施設 定員増

【イメージの改善】 (市民意識調査 n=1,045)

R2年度 56.6% (主な理由) 駅周辺がきれいに整備され景観が良くなった (41.0%)

【市外転出意向の理由】 (R2.3ファミリーアンケート n=261)

治安・マナーが悪い (32.2%)	→	ひたたくり、自転車盗激減
住宅に対する不満 (24.5%)	→	ゆとりある住宅の増
学校教育に不満 (5.0%)	→	ほぼ全国平均に向上
(自然) 環境面が悪い (2.7%)	→	環境モデル都市への選定
子育て支援に不安 (6.5%)	→	保育施設 定員増

主要取組項目

子ども・教育

- ・児童相談所
- ・子ども医療費
- ・待機児童対策

学び・つながり・ささえあい

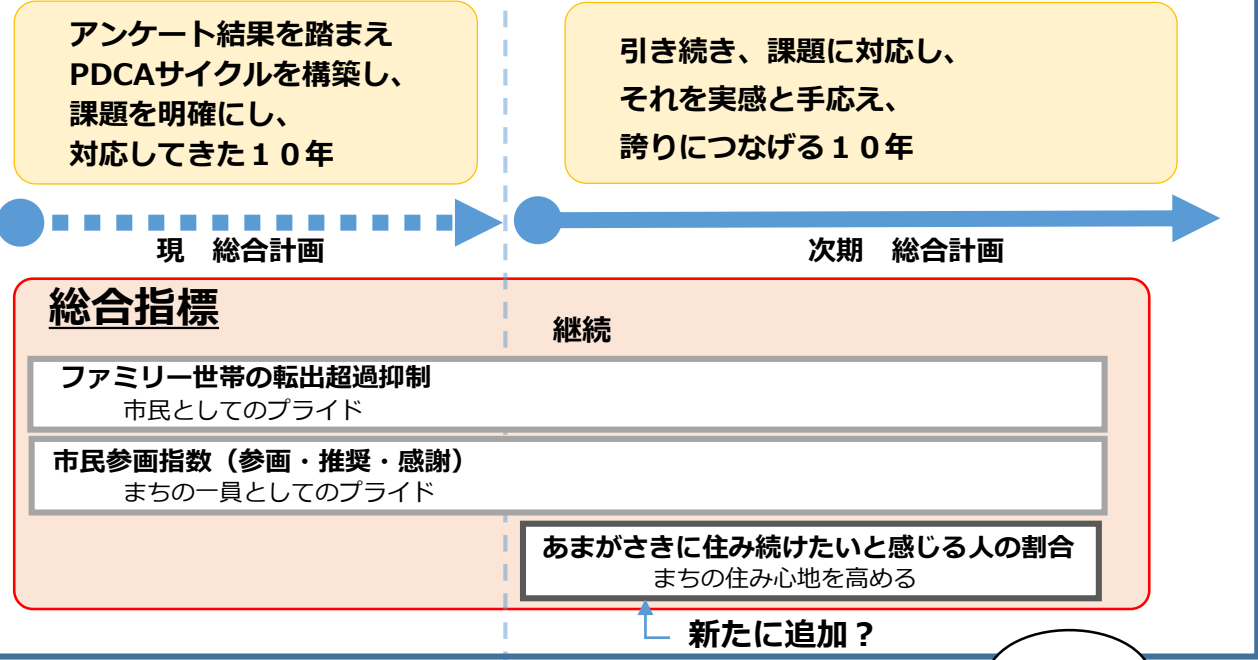
- ・地域課、生涯、学習！推進課の取組 (みんなの尼崎大学、インターンシップなど)
- ・高齢者の生きがい
- ・健康 (全年齢)

魅力向上

- ・エリアマネジメント
- ・マナー (たばこ、ポイ捨て、生活安全)

脱炭素・経済循環

- ・再エネ、省エネ
- ・あま咲きコイン



計画期間の背景

量から質の時代へ  
公共施設の老朽化への対応着手  
環境問題の顕在化  
高齢化・少子化の進行  
人口減少社会の現実化

質の向上・多様性を重視  
高齢化・少子化の進行 (労働力の減少)  
人口減少社会の現実化 (空家の増)  
南海トラフ・想定を超える自然災害  
脱炭素社会実現への取組  
SDGs・ポストSDGs  
情報技術の革新・デジタル社会  
公共施設の老朽化・FMの推進

行政運営

尼崎らしい  
ありたいまち

- ひと咲き まち咲き あまがさき
- |                     |                       |
|---------------------|-----------------------|
| ①社会的包摂・多様性          | 「ほっとかない。だれも。なにも」      |
| ②シチズンシップ(・シビックプライド) | 「みなぎる。つながる。わたしたちのチカラ」 |
| ③産業・活力              | 「きり拓く。ひと、しごと」         |
| ④利便性・都市インフラの充実      | 「たかまる。便利でご機嫌な暮らし」     |
| ⑤持続可能性              | 「ひろげる。一歩先の選択肢」        |